

企画提案書：

山形県酒田市八幡地域・大沢地区 豪雨災害 の被害・復旧・復興 視察研修プログラム

～被災の記憶を教訓に。地域と共に歩む復興への道～

2026.1.29. 合同会社 COCOSATO

1. 企画の趣旨・目的

2024 年（令和 6 年）7 月 25 日の記録的な豪雨により、甚大な被害を受けた酒田市八幡地域・大沢地区。本プログラムは、当時の被害状況と、復旧・復興に向けた活動を現地で学ぶ視察研修です。自然災害の恐ろしさを知る「防災学習」としての側面に加え、「じゅんさい」や「大沢「大」文字」などの地域資源に触れる追加オプションを用意することで、地域の経済的な復興支援（応援消費）にも繋がる「これからの新しい防災・復興ツーリズム」を提案します。

2. プログラム基本概要

項目	内容
開催場所	【座学】 酒田市 大沢コミュニティセンター（施設の利用状況により、別会場になる可能性がございます） 【視察】 大沢地区内（被災現場および復旧現場）
所要時間	計 120 分 （座学・映像：70 分 ／ 現地視察：50 分） ※午前 10:00～12:00（月曜、火曜、木曜、金曜、土曜） 水曜、日曜の受け入れは行っておりません
受入人数	1 団体あたり 最大 40 名まで
基本料金	33,000 円 （～30 名までの一律料金） 44,000 円 （31 名～40 名までの一律料金） ※資料代、講師謝金、会場費、地区案内料を含む
対象	地域団体・自治会等関係者、自治体職員、教育機関、防災団体等
主催	大沢コミュニティ振興会、合同会社 COCOSATO
企画・運営	合同会社 COCOSATO

項目	内容
後援・ 協力	松山観光バス株式会社、一般社団法人酒田 DMO

3. 当日のタイムスケジュール案（120 分コース）

【前半：知る】座学と映像上映（70 分）

場所：大沢コミュニティセンター

- 10:00～10:50 講演「豪雨災害からの復旧・復興と、地域の未来を作る道」&記録

映像上映

- 大沢地区の概要、自然とこれまでの暮らしや活動について。
- 2024 年 7 月 25 日の豪雨発生時の状況。
- 被災直後の地域の様子と、孤立集落での助け合い。
- 復旧・復興の記録映像（ドローン映像や定点写真の比較など）。
- 豪雨災害からの教訓と災害に備えて準備すべきこと。

- 10:50～11:10 質疑応答・休憩

【後半：見る・感じる】現地フィールドワーク（50 分）

場所：大沢地区内（車で移動）

※安全確保がなされたルートを、地元ガイドと共に歩きます。

- **11:10～11:50 地区内視察**

- **土砂災害・浸水被害現場跡**：自然の猛威と爪痕を確認し、農地や河川の被害状況、復旧状況を視察。

- **11:50～12:00 大沢コミセンまで移動**

- 大沢コミュニティセンター前にて解散。

4. 【オプション】復興応援・体験プログラム

視察とセットで行うことで、地域の「なりわい」の再生を直接支援できる体験メニューです（A もしくは B のいずれかを、13:30～15:00 ごろに行います）。

A. じゅんさい採りと雑草取り体験（90 分）※6 月下旬～8 月下旬、2026 年の受け入れは未定です（雨天決行、荒天中止）

大沢地区の「じゅんさい」沼での収穫体験と、沼の維持管理（雑草取り等）をお手伝いいただくプログラムです。

- **集合場所**： 八幡タウンセンター駐車場（沼まで車で移動します）
- **料金**： 1 人あたり 2,000 円（税込）

- **内容：** 木舟に乗って収穫体験、環境保全活動（沼の草取り等）。
- **意義：** 沼の維持・再生を支援し、特産品の購入・消費につなげます。

B. 大沢「大」文字の山登り体験（90 分）※4 月上旬～6 月中旬、9 月～11 月中旬（雨天中止）

毎年 10 月に行われる「やわた大沢復興フェス」に向けて 7 色に光るライト点灯の舞台ともなる山へ登り、地区を一望します。

- **集合場所：** 大沢コミュニティセンター駐車場（現地近くまで車で移動します）
 - **料金：** 1 人あたり 1,000 円（税込）
 - **内容：** 大沢「大」文字の山までのトレッキング、大沢地区俯瞰。
 - **意義：** 地域のシンボルである「大」文字の継承を応援し、大沢地区の自然豊かな景観を学びます。
 - **注意事項：** 急斜面の山を徒歩で往復 30～40 分ほどトレッキングします。スパイク付きの長靴を無料で貸し出し可能です。
-

5. 期待される学習効果

1. 防災意識の向上

- 。 実際の被災現場を見ることで、「自分事」としての防災意識を高める。

2. 防災・復旧・復興に向けたコミュニティ活動や自主的活動の重要性

- 。 孤立した状況下での「共助（近所同士の助け合い）」の実例や、復旧・復興に向けた活動の実例を学ぶ。

3. 復興支援と持続可能な地域づくり

- 。 単なる支援に留まらず、地域資源（じゅんさい等）を活用した持続可能な地域づくりへの理解を深める。

6. その他・留意事項

- **服装について：** 視察およびオプション体験は屋外のため、動きやすい服装・汚れても良い靴（長靴推奨）でご参加ください。
- **天候判断：** 雨天・荒天時は安全を優先し、オプションの中止判断を行い、座学中心のプログラムへの変更をする場合があります。
- **収益の使途：** 本プログラムの収益の一部は、八幡地域、大沢地区の復興に向けた活動に対する支援金として活用されます。